

算数科 小学校 2年

単元名「かくれた数はいくつ」

本時の流れ（第1時）

既習の学習の確認

本時のめあての把握

課題を解くための手順を考え、確認する。

自力解決する。

集団解決する。

詳しい指導案はこちら

CLICK

適用問題をする。

学習のまとめ
振り返りをする。

本時の目標

○残った人数と帰った人数を、ブロックを使って表して、逆試行の問題を解く。

【めあての把握】「分かっていること」と「たずねられていること」に線を引く。

【めあて】
ブロックをならべてかんがえよう。

【問題文】
子どもが あそんでいました。
そのうち6人がかえたので、8人になりました。
はじめはなん人がいましたか。

【自力解決】
★ワークシートとブロックを使って、実際に帰る場面を想定する。

【集団解決】
☆操作→発表→確認の順でブロック操作を行い、どうしたらはじめの人数になるかを考えさせる。
☆残った人と帰った人を色分けして一列に並べて、操作活動を行い、次時のテープ学習へとつなげていく。
☆式と答えを発表させる。

【問題】
子どもが いえであそんでいました。
そのうち□人がかえたので、△人になりました。はじめはなん人がいましたか。

【学習のまとめ】
☆アンケートに本時の振り返りを記入する。

評価問題

授業展開例へ

単元の流れへ

HOME